

# 議会だより

No. 193  
令和6年8月  
発行 福島県鏡石町議会  
編集 広報広聴常任委員会  
〒969-0492 福島県若菜郡鏡石町 本町345  
電話0248(62)2110  
印刷 (南)永山印刷



## 田んぼアートに願いを込めて



かがみいし田んぼアートをPRする「七夕まつり」が、7月14日（日）に町図書館とグリーンロードで開催されました。当日は、町内外から多く観覧者が訪れて、見頃を迎えた田んぼアートとイベントを楽しんでいました。

目次	
第4回定例会	2～3ページ
審議結果報告	4～5ページ
一般質問	6～13ページ
町民の声・議会トピックス	14ページ

### 町民の声

何でも言って!!  
みんなの願い・想い

本町在住の中島さん

運動会で大人の競技を取り入れてほしい。子供達は親の頑張る姿を見ることができ、親同士も交流が持てると思います。

## 議会トピックス 北海道南幌町・厚真町を行政視察

鏡石町議会では、今後のまちづくりの参考とするために、令和6年7月3日～5日にかけて、議員全員で行政視察を実施しました。



南幌町の視察

◎南幌町  
人口 7868人  
世帯 3731戸  
面積 81.36km<sup>2</sup>

南幌町は、子育て世代の移住・定住の支援策が充実しており、令和5年度の日本人口の増加率が全国の町村で最高となりました。最大2百万円を補助する子育て世代住宅建築助成事業や子ども室内遊戯施設の運営等の取り組みが功を奏し、子育て世代の人口増加につながっていました。

子育て世代の移住・定住の取り組みについて



厚真町の視察

◎厚真町  
人口 4271人  
世帯 2118戸  
面積 404.61km<sup>2</sup>

厚真町は、最大震度7を記録した平成30年北海道胆振東部地震により、山の斜面崩壊で多数の尊い命が失われました。町では、復旧・復興に向けた計画を3期に分けて策定し、現在は、復興から再生へ向かっています。地域の防災力強化と町民の防災意識の醸成等、災害に備える取り組みが参考となりました。

平成30年北海道胆振東部地震からの復興状況について

発行責任者 議長 角田 真美

広報広聴常任委員会  
委員長 稲田 和朝  
副委員長 熊倉 正磨  
委員 畑 幸一  
委員 根本 幸一  
委員 根山 廣嗣  
委員 吉田 靖子  
委員 孝司

6月23日に、あやめ祭りが小雨模様の中で開催されました。艶やかな浴衣を着こなした若い女性グループなどが見受けられ、大勢の参加者で大変盛り上がりました。

さて、6月の定例会においては、9名の議員が一般質問に登壇し、活発な議会となりました。

少しでも良き政策に繋がるように、また議会の役割が向上するように努めていきたいと思っております。

お気づきの点がありましたら、お気軽に声をかけてください。

編集後記

# 令和6年6月 第4回定例会

## 定額減税や価格高騰重点支援 給付金など2億6568万円 の増額補正予算が可決



第4回鏡石町議会定例会は、6月6日から12日までの7日間の会期で開催されました。今定例会では、補正予算や条例改正など29件の議案が審議され、いずれも可決・承認されました。（審議結果は4～5ページ）

また、一般質問では、9名の議員が様々な行政課題について質問しました。

### 【第4回定例会の会期日程】

開催日	会議内容
6月6日（木）	本会議（条例改正、補正予算等）
6月7日（金）	本会議（一般質問5名）
6月8日（土）～9日（日）	休会
6月10日（月）	本会議（一般質問4名）
6月11日（火）	休会（各常任委員会開催）
6月12日（水）	本会議（補正予算、新条例、陳情等）

### 令和6年度の各会計 補正予算が可決

令和6年度一般会計の補正予算は、2億6568万円の増額補正が可決され、補正後の一般会計予算総額は、66億568万円になりました。

また、令和6年度国民健康保険特別会計の補正予算は、国保税率の改正に伴う補正で予算の増減はありません。

### 報告案件9件を承認

報告案件は、専決処分7件（※1）のほか、令和5年度事業の繰越関係2件が審議され、9件全てが承認されました。

専決処分の内容は、町税条例の一部改正や年度末における各会計の予算整理などになります。

また、繰越事業の内容は、道路建設に伴う社会資本整備総合交付金事業などになります。

### 令和6年度一般会計の主な補正予算

- ・ 定額減税補足給付金事業 1億4007万円  
（6月から始まる定額減税の経費）
- ・ 低所得世帯等価格高騰重点支援給付金事業 2214万円  
（新規非課税世帯等への支援給付金）
- ・ 児童手当事業 3000万円  
（高校生年代までの支給拡大等の経費）

### ※1「専決処分」って何？

「専決処分」とは、議会が議決すべき案件について、町長が議会に代わってこれを処分することです。緊急のため議会を招集する余裕がない場合など、行政運営の遅れを防ぐために行われます。専決処分した案件は、議会へ報告して承認を求めることになります。

### 議会基本条例を改正

#### 町と議員の請負状況を公表

今定例会では、鏡石町議会基本条例の改正案が議員発議で上程され、全会一致で可決されました。

今回の改正は、地方自治法の改正に伴うもので、町と議会議員が請負契約を行った場合に、金額や請負の概要を公表して透明性を確保するものです。

なお、請負状況の公表は、令和7年度（令和6年度実績分）からになります。

### 固定資産評価審査委員会委員1名を再任

定例会初日に、任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員1名の再任案が審議され、全会一致で同意されました。任期は、令和6年7月1日から3年間となります。

【再任】吉田賢司氏（不特招）

### 工事請負契約3件と備品購入契約1件を可決

地方自治法に基づき議会の議決が必要となる工事請負契約3件と備品購入契約1件が審議され、いずれも可決されました。契約内容は、次のとおりです。

#### ◎サカサ池浚渫工事

契約額 8409万6000円  
契約先 (株) 渡辺建設

#### ◎高速道路跨道町道橋修繕工事（舘越橋）

契約額 1億29万8千円  
契約先 壁巢建設（株）

#### ◎鳥見山陸上競技場管理事務所改修工事

契約額 1億3837万2300円  
契約先 笠原工業（株）

### ◎鳥見山陸上競技場公認検定用器具等備品購入契約

契約額 2923万8千円  
契約先 長谷川体育施設（株）  
福島営業所  
内容 ハードル、超音波風速計、写真判定装置など

### 国民健康保険税条例を改正

#### 国民健康保険税の税率を改正

定例会初日に、鏡石町国民健康保険税条例の改正案が審議され、全会一致で可決されました。

今回の改正は、国民健康保険税の税率を改正するもので、医療費の見込みや国保加入者数の減少、将来的な県内国保の統一化への対応などが改正の理由になります。

なお、改正後の税率は、令和6年度課税分から適用されます。

### 産業厚生常任委員会

#### 町内の空き家を視察

産業厚生常任委員会（小林政次委員長）は、会期中、陳情1件と管理不全空き家の現地視察を行いました。

現地視察では、担当課（都市建設課）の説明を受けた委員が、町内の空き家の現況を確認しました。

### 総務文教常任委員会

#### 陳情4件を審議

総務文教常任委員会（円谷寛委員長）は、会期中、陳情4件の審議のほか、中学校部活の民間移行、カーブミラーの設置状況など委員会所管の行政事務について、担当課の説明を受けました。

### 議会トピックス

#### 福島県町村議会議長会総会

6月3日に、福島県町村議会議長会（角田真美会長）の令和6年度定期総会が福島市で開催され、角田議長が会長として総会の議事運営にあたりました。



議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
陳情第3号	福島県最低賃金引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について (福島県最低賃金の早期引き上げなどを求めるもの)	採択
陳情第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出陳情書 (増大する地方公共団体の行政需要に見合った財源確保を求めるもの)	採択
陳情第5号	国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての陳情 (学校給食費無償化を国に求めるもの)	採択
陳情第6号	県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての陳情 (学校給食費無償化を県に求めるもの)	採択
陳情第7号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書 (東日本大震災で被災した児童生徒の経済的支援制度の継続を求めるもの)	採択
意見書案第2号	福島県最低賃金引き上げと早期発効を求める意見書(案) (陳情第3号の採択に伴う意見書)	可決
意見書案第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案) (陳情第4号の採択に伴う意見書)	可決
意見書案第4号	国に対し学校給食費無償化を実施することを求める意見書(案) (陳情第5号の採択に伴う意見書)	可決
意見書案第5号	県として学校給食費無償化を実施することを求める意見書(案) (陳情第6号の採択に伴う意見書)	可決
意見書案第6号	国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書(案) (陳情第7号の採択に伴う意見書)	可決

## 第4回定例会 審議の結果（賛否が分かれたもの）

「○」賛成 「×」反対 「－」採決に加わらない。その他の議案は全会一致で可決した。

議案等番号	畑幸一	中島伸子	熊倉正麿	東悟	根本廣嗣	町島洋一	稲田和朝	込山靖子	吉田孝司	小林政次	円谷寛	角田真美	審議結果
議案第77号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

## ◎常任委員会に付託された議案・陳情等の採決結果

付託された委員会	議案(陳情)番号・件名	採決結果	
		各委員会	本会議
産業厚生常任委員会 (小林政次委員長)	陳情第3号 福島県最低賃金引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	採択	採択
総務文教常任委員会 (円谷寛委員長)	陳情第4号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出陳情書	採択	採択
	陳情第5号 国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての陳情	採択	採択
	陳情第6号 県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての陳情	採択	採択
	陳情第7号 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	採択	採択

## 第4回定例会 審議の結果

### ◎提出議案29件

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
報告第3号	鏡石町税条例の一部を改正する条例の制定について (年度末における税制改正に伴う条例改正)	承認
報告第4号	鏡石町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (基礎課税額の上限額の改正)	承認
報告第5号	令和5年度鏡石町一般会計補正予算(第9号) (年度末における事業確定に伴う予算整理で326,146千円の減額補正)	承認
報告第6号	令和5年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (年度末における事業確定に伴う予算整理で35,000千円の減額補正)	承認
報告第7号	令和5年度鏡石町後期高齢社医療特別会計補正予算(第3号) (年度末における事業確定に伴う予算整理で1,122千円の減額補正)	承認
報告第8号	令和5年度鏡石町介護保険特別会計補正予算(第4号) (年度末における事業確定に伴う予算整理で12,713千円の減額補正)	承認
報告第9号	令和5年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号) (年度末における事業確定に伴う予算整理で15,626千円の減額補正)	承認
報告第10号	鏡石町一般会計繰越明許費繰越計算書について (道路建設にかかる社会資本整備総合交付金事業など10事業の翌年度繰越)	承認
報告第11号	鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について (駅東第1土地区画整理事業の翌年度繰越)	承認
議案第74号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて (任期満了に伴い、吉田賢司氏の再任同意を求めるもの)	同意
議案第75号	鏡石町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (関係法令の改正に伴う保育士などの配置基準の改正)	可決
議案第76号	鏡石町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (国民健康保険税の税率の改正)	可決
議案第77号	サカサ池浚渫工事請負契約の締結について (浚渫工事として84,090,600円の契約締結)	可決
議案第78号	高速道路跨道町道橋修繕工事(館越橋)請負契約の締結について (修繕工事として100,298,000円の契約締結)	可決
議案第79号	鳥見山陸上競技場管理事務所改修工事請負契約の締結について (改修工事として138,372,300円の契約締結)	可決
議案第80号	鳥見山陸上競技場公認検定用器具等備品購入契約の締結について (ハードルなどの公認検定用器具の購入費用として29,238,000円の契約締結)	可決
議案第81号	令和6年度鏡石町一般会計補正予算(第1号) (定額減税や価格高騰重点支援給付金など265,672千円の増額補正)	可決
議案第82号	令和6年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (国民健康保険税率の改正に伴う補正)	可決
発議第3号	鏡石町議会基本条例の一部を改正する条例の制定について (議員が町と請負契約をする場合、その契約内容を公表する規定を盛り込む改正)	可決

質問事項

○鏡石駅前通り（北原境線から南方面笠石419号線まで）について

質問

センターラインが薄く見えませんが対応は。

都市建設課長

特に、県道の笠石高架橋から熊野神社にかけて、センターラインが薄くなってきているのは把握している。年内には、町内各所においてセンターラインなどの区画線の引き直し工事を実施し、当該箇所も実施していきたい。



東 悟議員

一般質問

9名の議員が町政を問う

◎一般質問は、町政全般に対する議員主導の政策論議です。執行機関に疑問点をただし、その政治姿勢を明らかにするだけでなく、現行の政策の変更、是正、新規政策の採用などの効果もあります。

（紙面の都合上、質問の一部を割愛しています。）

Table with 2 columns: 一般質問日程 and 質問者（登壇順）. It lists the dates and names of the council members who asked questions.

質問

笠石419号線南方面に、速度標識を設置してほしいがどうか。

総務課長

速度標識の新設は、法的な規制標識となるので、信号機や横断歩道の新設と同様に、町交通対策協議会から須賀川警察署を通して、県公安委員会に設置を要望していきたい。

質問事項

○こども食堂について

質問

こども食堂について、町ではどのように考えているのか。

福祉こども課長

町内では、任意団体「のんびりキッチン」の1団体が活動している。当該団体から、町に対して実施場所や食材の調達等の要望が寄せられているため、可能な限り支援をしていきたい。

質問事項

- 蒲之沢地区の町道について
○笠石中町地内のU字溝の入替えについて



稲田和朝議員

蒲之沢地区の町道について

質問

朝夕の通勤時に非常に混雑して、農作業に支障がでている。町道鏡田14号線、鏡田15号線の拡幅の予定はあるのか。

都市建設課長

国道118号線のバイパスの開通もあり、当該町道は、近道として利便性が高まり交通量が増加している。町では、道路幅員を確保し、交互通行を容易にするため、側溝蓋設置や道路側溝改修工事を行っている。本路線の拡幅について、現時点で具体的な計画はないが、現地状況を勘案しながら、今後の町の道路整備計画の中で検討していきたい。

質問

拡幅の予定がないのであれば、待避所（現在3ヶ所）を増やすべきではないか。

都市建設課長

昨年度、118号線交差点手前の町道の曲線部において、道路の側溝改修を一部行った。今後も道路の利用状況を把握しながら、待避所の必要性も含めて調査・検討していきたい。

笠石中町地内のU字溝の入替えについて

質問

道路との段差があり、住宅の擁壁にひび割れが出ている。中町155番地、156番地の北側のU字溝の入替えは難しいのか。

都市建設課長

側溝が低く、それに合わせて住宅の擁壁が立っている状況であるが、道路側溝は、構造的に問題はない。擁壁は、個人の所有物なので、所有者が改修や補強をすることになる。その際、側溝の入替えが必要であれば、原因者負担の工事となるのでご理解を願う。

質問事項

○食味分析鑑定コンクール国際大会推進事業について

質問

鏡石町で、過去に金賞や特別優秀賞の受賞者はいるか。

産業課長

昨年の大会で、県立岩瀬農業高校のお米甲子園部門への参加は把握しているが、一般部門での参加は把握していない。

質問

昨年、食味分析鑑定コン



中島伸子議員

質問事項

○鏡石町田んぼアート事業について

質問

田んぼアートの田んぼの農薬や化学肥料の使用状況はどうなっているのか。

産業課長

田んぼアート事業では、使用している「天のつぶ」の収量確保も重要であるため、一般的な水稲作付け作業で使われている肥料を使用している。除草剤などの農薬についても、農家の方のアドバイスを受けながら、一般的な使用により育成管理を行っている。

質問

田んぼアートの田んぼで見られる生き物には何があるのか。

産業課長

田植えや水の管理、稲刈りの作業時には、カエルやアメンボ、イナゴ、バッタといった生き物を目にすることがある。

田んぼアートの場合は、一部土側溝になっており、人工物のコンクリート側溝よりは、幾分自然環境に近いと思われる。



町島洋一議員

質問事項

- かがみいしスポーツクラブについて
- 町内の小中学校のプールについて
- 公民館グラウンドについて
- 構造改善センターについて
- レンタサイクルについて

一般質問

一般質問



熊倉正磨議員

質問事項

- 小中学校の教育関連について
- 鏡石町の災害時用備蓄食料品について
- 町公民館グラウンドについて
- 全国消滅可能性自治体の公表について
- 町の人材や資源を活用したイベントについて

小中学校の教育関連について

**質 問**  
鏡石町の小中学校の教職員不足について、町はどう考えて対処したのか。

**教育課長**  
小中学校は、教職員の定数不足はない。中学校は、教職員23名の配置に対し22名の配置で、1名の不足が生じている。そのため生徒の学びに影響が生じないように、複数の教員で分担して授業を進めている。  
できるだけ早急に教員不足が解消できるように、全力を尽くしていく。

**質 問**  
小中学校の着衣水泳教室の必要性を感じているが町はどう考えているのか。

**教育課長**  
着衣水泳の授業は、自分の命は自分で守るという視点からも重要である。着衣水泳授業の実施に向けて、学校と協議しながら検討を

かがみいしスポーツクラブについて

**質 問**  
当クラブへ町から年340万円補助しているが、その年数と今までの総額は。

**教育課長**  
当クラブには、平成21年度から補助金を交付しており、令和5年度までの15年間分を合計すると4455万円になる。

**質 問**  
今年度から「地代家賃40万」という項目があるが、今まで徴収しなかった理由は何か。金額の再検討をすべきではないか。

**教育課長**  
これまででは、当クラブが地域に定着することを尊重して、事務所の使用料算定は行わなかった。  
今年度からは、行政財産の使用料として賃貸料を負担してもらうことにしたが、金額は検討したい。

進めていきたい。

鏡石町の災害時用備蓄食料品について

**質 問**  
食品アレルギーに対応したものになっているのか。

**総務課長**  
食品アレルギーを持つている方のために、特定原材料である卵、乳、小麦、エビ、カニ、落花生、そばの7品目を使用していない備蓄食料品として、野菜カレーやパスタも少量、備蓄している。

**質 問**  
食品アレルギー対応の備蓄食料品の種類も増加し、品質も高まっていることから、今後、アレルギー対応の備蓄食料品に切り替えていきたい。

町公民館グラウンドについて

**質 問**  
送迎場所、駐車場として指定される場所があり使用

**質 問**  
当クラブが毎年町内外の企業や商店に対し協賛と称し金品を募っているが、町は把握しているのか。

**教育課長**  
町内企業や商店などの個人事業者が、当クラブを継続的に応援する賛助会員としての会費収入であると認識している。

町内の小中学校プールについて

**質 問**  
不衛生な状態にあるが解体の予定や跡地利用の計画はあるのか。

**教育課長**  
小中学校のプールは、今後、解体して敷地の有効活用を考えている。  
今年度は、中学校プールの解体工事の実施設計を行っており、次年度に解体工事を予定している。跡地の利用については、学校と協議していく。

するが、雨の日は歩くのも困難である。現状を把握し対応を考えているか。

教育課長

公民館グラウンドは、雨天時は出入口付近に水がたまり、全体的にも水はけが悪い状況である。そのため、中学校の雨天時の送迎場所として、公民館正面のロータリーが使用されている。  
また、学校行事の臨時駐車場としては、公民館グラウンド以外にも、健康福祉センターの駐車場を使用していると聞いている。

なお、公民館は昭和49年に建設されていることから、グラウンドのあり方も含めて、総合的に老朽化対策を検討する必要がある。

全国消滅可能性自治体の公表について

**質 問**  
鏡石町は対象外だったが、これをどうとらえているか。また、どんな理由からと考えているか。

公民館グラウンドについて

**質 問**  
仮設住宅も撤去され現在は駐車場として利用されているが、今後の活用について問う。

**教育課長**  
公民館グラウンドは、東日本大震災の仮設住宅が、平成29年12月に撤去されて以降、運動するために利用する個人や団体はいない状況である。  
現在は、一時的な駐車場として利用しているが、全体的に水はけが悪い状況から公民館の老朽化対策と併せて総合的に検討する必要がある。

構造改善センターについて

**質 問**  
第1回定例会の一般質問の要望（トレーニングルームの軽運動場への場所変更）について何も改善されていないが、進捗状況はどうか。

町長

本町は対象外になっているが、2020年から2050年までに若年女性の減少率は41.3%と想定されており、危機的な状況に変わりはない。  
県知事からは、県全体、そして自治体共通の課題として捉えるべきとの提案もあり、何か対策を全体で取り組まなければならないと感じている。

町の人材や資源を活用したイベントについて

**質 問**  
鏡石町は、ミニトライアスロンなどの大会を開催できる環境が整っていると思いが可能か。

企画財政課長

鳥見山公園は、陸上競技場及び室内プールを備えており、環境としてミニトライアスロン大会を開催可能な素地はあるが、会場が広範囲に及ぶこと等、全体的な課題は多いと考える。

教育課長

トレーニングルームと軽運動場の利用者に、それぞれ聞き取り調査を行っている。トレーニングルームの利用者からは、「利用人数が多くなると狭く感じる」、軽運動場の利用者からは、「子供がトレーニング機器を触ってケガしないか心配」という声があった。引き続き検討を進める。

レンタサイクルについて

**質 問**  
平坦な地理を活かし気軽に散策でき、誰でも利用しやすいレンタルのマウンテンバイクを、駅に設置してはどうか。

健康環境課長

自転車による運動は、有酸素運動の一つとして、心肺機能向上や持久力強化の効果がある。  
自転車は、町民の健康増進と環境への負担軽減にも繋がることから、様々な観点から調査研究していく。



円谷 寛議員

質問事項

- 成田遊水地事業への町の取り組みについて
- 町民の健康寿命を伸ばす対策について
- 中学校の部活動の地域移行への取り組みについて

一般質問

**成田遊水地事業への町の取り組みについて**

**町長** 成田上流地への第二遊水地の設置要望は、以前の一般質問でも提案をいただいたが、現時点で国では、本川以外の場所における遊水地整備は具体的な検討がされていない。

**質問** 広大で優良な農地と宅地が失われ、貴重な町の財源も永久に失われることから、損失の補填も含めて引き続き国や関係機関に要望していきたい。

**企画財政課長** 工業団地の誘致は、町民の雇用確保のための重要な

**町民の健康寿命を伸ばす対策について**

**質問** 高齢者が楽しく集えて交流できる場として、温泉は健康寿命を伸ばすために大いに効果があると考えられるがどうか。

**健康環境課長** 町では、第6次総合計画の中で、健康長寿のまちづくりに取り組んでいる。温泉療法の医学的効果や保養的な効果は、心と体の健康づくりにつながっていくものと考えている。

**質問** 町は、なぜ老人クラブの解散が続くのかを調査して対策を講じるべきでは。

**福祉こども課長** 会員数減少の原因としては、役職への拒否感、定年

**中学校の部活動の地域移行への取り組みについて**

**質問** 中学校の部活動を、地域スポーツクラブなどに移行する取り組みはどこまで進んでいるのか。

**教育長** 部活動の地域移行に向けて、昨年度は、保護者や生徒へのアンケート、陸上部への休日の指導者派遣を実施した。

今年度は、地域で受け入れ可能な種目、指導者確保などのコーディネート業務、保護者の費用負担、実施可能な種目の検証などを行いながら地域移行に向けて取り組んでいる。

**質問** 財政の裏付けはどのようなものか。

**教育長** 地域移行の準備として、指導者の育成や報酬・保険などの費用が必要となるが、国・県からの補助金等はない。移行後の補助金についても示されていない。

**質問** 各自治体で苦慮していることから、国・県に対しては強く要望をしている。

**教育長** 鏡石中学校では、生徒数が減少傾向で、部活動数も減少しているため、新たな部活動の設置は難しい。

なお、部活動の地域移行が進めば、土日の受け皿として、スイミングクラブのようなものができる可能性はあると思う。



込山靖子議員

質問事項

- 自治法改正（非常時の国の指示権拡大）について
- ふるさと納税について

**自治法改正（非常時の国の指示権拡大）について**

**質問** 今通常国会で、衆議院で可決された地方自治法の一部改正（非常時の国の指示権拡大）について、本町ではどう考えているか。

**町長** 地方自治法の改正案では、国が自治体に指示を行う際には、あらかじめ自治体に見解の提出を求める努力をしなければならないと規定されている。

そして、国の指示が適切だったか検証するため、国会への事後報告を義務づける規定を設ける修正が行われたと報道により把握している。

今後、参議院で地方自治法の改正案が可決され施行された場合は、法令に基づき対応していきたい。

**ふるさと納税について**

**質問** 令和5年度のふるさと納税返礼品の上位4位までの品物と金額は。

**企画財政課長** 1位は桃で、1755万2千円、2位はりんごで、201万2千円、3位は福島牛で、117万5千円、4位は梨で、108万7千円となっている。

**質問** 令和5年度のふるさと納税による寄附金のうち、総経費を除いた純粋な財源として使える金額は。

**企画財政課長** 令和5年度のふるさと納税の寄付金は、2830万1千円である。

ふるさと納税の制度では、返礼品を含めた経費の上限割合は5割と定められているため、1415万1千円が各種事業に活用できる財源となる。

**質問** 令和5年度のふるさと納税の寄付金で得た財源は、主に何に使用したのか。

**企画財政課長** ふるさと納税は、寄付をする際に用途を指定できる制度であるが、本町では多くの場合、その用途の指定がない。

なお、令和5年度においては、田んぼアート事業、文教施設の整備、防犯灯の設置、花いっぱい運動、観光プロモーション事業等に財源を充てている。

**質問** 体験型ふるさと納税や企業版ふるさと納税などの取り組みを、前向きに考えているか。

**企画財政課長** 体験型ふるさと納税は、全国で取り組みが広がっており、本町でも必要性は感じている。

**質問** 今年度においては、専門事業者への委託業務の中で検討している。

また、企業版ふるさと納税は、昨年1件の寄付をいただいている。寄付を希望する企業へのPRやマッチングなど、今後取り組む課題も多いが、引き続き取り組みを推進していく。

**質問** ふるさと納税制度を有効的に活用し、少しでも財源確保につながるための方策はあるのか。

**企画財政課長** 令和6年度のふるさと納税寄付額は、昨年度予算額の2倍である5千万円を計上している。

具体的な方策としては、今年度から専門事業者と協働した中で、寄付者のニーズに合わせた個別発送、きめ細かい返礼品のPR、寄付サイトのPR等により納税額の向上に努めていく。



吉田孝司議員

質問事項

- 医療福祉と健康長寿のまちづくりについて
- 鏡石スマートインターチェンジについて
- 町民にわかりやすく利用しやすい役場づくりについて
- 鏡石町における公共工事等の入札及び契約の適正化について

一般質問

一般質問

質問事項

- 町長の町政運営と抱負について
- 令和6年度町予算における概要について
- 観光産業について



畑 幸一議員

町長の町政運営と抱負について

町長の誇りと魅力づくりの方針と展望は。

町長

唱歌「牧場の朝」のイメージである清々しさと美しさを大事にして、町民が毎日を元気に過ごし、ふるさと鏡石町をマイタウンと呼べるような安全で安心して暮らせる「誇りと自慢の鏡石町」をつくり、次の世代につないでいきたい。

町長

町政に夢と希望を抱かせる方策は。

町長

町の第6次総合計画に基づき、町の魅力の発掘、道路・水道等のインフラの充実、教育施設環境の整備、子育て・少子高齢化対策などの主要事業について、長期的かつ計画的に事業を進めることが重要である。

そして、町民の皆さんが元気になるようなまちづくりこそが、夢や希望を抱かせる方針であると考えている。

令和6年度町予算における概要について

財政力指数の強化の取り組みは。

企画財政課長

令和4年度決算における町の財政力指数は0.58で、県内市町村の平均値0.46を上回っている状況にあるが減少傾向にある。

町では、収納率の向上対策を中心として、税収の確保など自主財源の増額に努めている。

人口増加や地域活性化につながる魅力あるまちづくりに取り組みながら、自主財源比率の向上を図ってきたい。

町長

予算編成に反映させるための特別枠の具体的内容は。

企画財政課長

令和6年度当初予算では、重点施策を推進するために特別枠を設定した。

具体的には、行政区要望や町政懇談会、こども議会での意見など地域課題への対応事業、子育て支援、健康福祉センター活用による健康づくり、牧場の朝のまちづくりなどの重点事業について、優先的に設定した。

町長

一般会計の町債残高と基金残高の状況は。

企画財政課長

一般会計の町債残高は、令和5年度末で58億9800万円である。このうち21億5千万円は、普通交付税の財源不足を補うため発行する臨時財政対策債の残高で、元利償還金が全額交付税措置される地方債である。

一般会計の基金は、財政調整基金など11基金があり、3月31日現在の残高は2億400万円である。

観光産業について

町の観光強化と交流人口の効果を上げる施策は。

産業課長

田んぼアートや鳥見山公園、ふれあいの森などの観光資源を活かした交流人口の増加策として、今年度から、移住・就農モニターを通じた総合的な情報発信事業に取り組んでいる。

また、地域魅力向上発信事業として、更なる情報発信やモニターツアーの実施を予定している。

町長

鳥見山公園内又は駅東口周辺にオランダ風車を建設してはどうか。

産業課長

オランダ風車については、鏡石駅西口にミニ風車とホルスタイン牛のオブジェが設置されている。新たな風車の設置については、現在、具体的な計画はない。

医療福祉と健康長寿のまちづくりについて

町内でも増加する認知症高齢者への施策をどのように進めていくのか。

町長

認知症に対する理解を持ち、見守り体制を拡大するために、町内の小中学生や一般の方を対象に、認知症サポーター養成講座を開催している。

福祉こども課長

また、認知症の情報交換や交流の場である認知症カフェの実施主体を、今年度から3つに拡大するほか、認知症初期集中支援チームの活動として、映画上映会と講演会を開催する。

町長

県内市町村で4番目に子どもが多いわが町において、子ども・子育て政策をどのように進めていくべきか。

福祉こども課長

第2期子ども子育て支援

鏡石スマートインターチェンジ（IC）について

スマートICを通行できる車種の制限を撤廃するための方策は。

町長

全車種の運行には、スマートICにアクセスする町道や県道の全線にわたる大規模な改修が必要となる。

都市建設課長

また、鏡石パーキングエリアは面積など構造上、大型車には対応できないことから、改良は大変厳しい状況である。

町民にわかりやすく利用しやすい役場づくりについて

全車種の運行のためには、国、県、ネクスコ東日本、地区協議会で、十分に議論を重ねる必要がある。

町長

縦割り行政を脱却するための方策は。

町長

町では、横断的な協力を強化するため、施策の執行や判断には、副課長レベルでの調整会議や課長による庁議において、組織内の情報共有や連携をして対応している。

また、職員には、ほかの課の内容であっても、どのようにしたらできるのかを考えるように指示をしている。

町長

新しい役場庁舎の建設計画と役場組織の将来像は。

総務課長

公共工事等の入札及び契約の適正化について

談合及び官製談合を未然防止するための方策は。

町長

役場庁舎は、平成26年度に耐震改修工事を行っており、当面使用することから、具体的な建設計画はないが、建築年数を考慮すれば、今後様々な点から検討していく必要がある。

町長

役場組織については、人口減少や少子高齢化、新たな行政ニーズへの対応が可能な行政機構を構築し、職員の資質向上と意識改革に取り組んでいきたい。

総務課長

官製談合を防止するためには、予定価格調書等の適切な情報管理や職員が入札談合に関与しないことが重要であるため、全ての職員に、談合関与の具体的事例や損害賠償、懲戒処分等について指導している。